

# CHIRO - JOURNAL

# カイロ ジャーナル

科学新聞社 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-13  
電話：03-3434-3741(代表) FAX:03-3434-3745  
E-mail: book@sci-news.co.jp http://www.sci-news.co.jp

## CHIRO-JOURNAL

### 『顔面部へのアプローチ(仮題)』今秋刊行予定

#### 皮膚の構造と機能

美顔をクリエイトするには、まず皮膚の構造を知らなければならぬ。ひと言で皮膚といっても、皮膚は同じ組織でできたひとつの層ではなく、表皮、真皮、皮下組織という三つの層に分けられる。組織で区別すると、表皮は上皮組織、真皮と皮下組織は結合組織に属する。さらに厳密に言えば、表皮は重層扁平上皮、真皮は定型結合組織で、皮下組織は疎性結合組織である。このように組織、いわば各層を作る材質が異なるため、三つの層は硬さ、柔軟性、弾力性もかなり異なっている。

また皮膚には、血管、リンパ管、末梢神経のルートが張りめぐらされ、汗腺、脂腺、感覚受容器も備えられている。これらの器官を活用して、皮膚は体温の調節、外界の情報をキャッチする役割を果たしている(体表を覆って、太陽光線や化学的毒物、ウイルスなどから身体の内側を守っていることは言うまでもない)。

#### 顔面筋と骨格

顔の表面を覆っているのは皮膚だが、

### 著者 劉勇氏の理論紹介



■劉勇(りゅう・ゆう)  
Dr.Liu Yong 医学博士  
・鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師

Li u マッサージ・ハリ「ハリアップ」院長、東北薬天ゴールデンイーグルスコンディショニングGP顧問、日本製薬工業協会日中がん協力顧問、北里大学薬学部医薬開発学客員教授、中国政府認定外国専門家、北京中医学薬学顧問。

1958年中国・東北生まれ。中国で外科医として活躍した後、活動の拠点を日本に移す。1985年東京・銀座に鍼灸治療院を開く。氏の鍼灸治療は西洋医学の理論と東洋医学の技術を融合した治療法。症状別治療や顔面神経麻痺治療を応用した美容鍼など、幅広い分野での臨床勉強会を開催。後継者の育成にも力を注ぐ。

人間の顔は皮膚だけでなく、骨と皮膚に付着している。因となる。また、極端な厚化粧を習慣化したら、身体他の部位よりもはるかに筋肉の状態が皮膚のコンディションに大きな影響を及ぼす。顔の筋肉の衰えは、確実に皮膚に影響を与えるのである。現に顔の皺、皮膚のたるみなどは、皮膚の深部で働いている筋肉の衰えが主要な原因となる。

### 正確に皮膚理解し治療を

### 美顔には生活習慣も重要

肌の美を損なう悪い習慣と決別する原因となる。美顔を保つ(美顔をよみがえらす)には、患者自身のセルフケアも重要な要素である。喫煙、過度の飲酒癖、夜更かしなどの習慣は、顔の肌を荒らす大きな要因となる。

- ①顔がツヤツヤしていて、肌に潤いがある。
  - ②顔の皮膚に弾力性と張りがある。
  - ③血液の循環がよいために血色がよく、顔の皮膚が生き生きとしている。
- 患者をそんな健康美へと導くために大切なことは、施術者がポイントを絞った適切な治療を施すこと、患者を健康な心と身体にいなさう、よきアドバイザー(ガイド)になることである。

このように美顔への施術においては、生活習慣の改善のアドバイスがきわめて重要なポイントとなる。また、皮膚の異常は、皮膚に原因があるとは限らない。皮膚は内臓の鏡なので、内臓の病気で皮膚に異常が現れるケースも多い。この点も見逃さないようにしたい。

#### 健康な身体と心が美肌を育む

美顔へのアプローチにおいて一番大事なのは、健康に打ち込まれた美をつくることである。

健康美に輝く顔の条件は、以下の3点である。